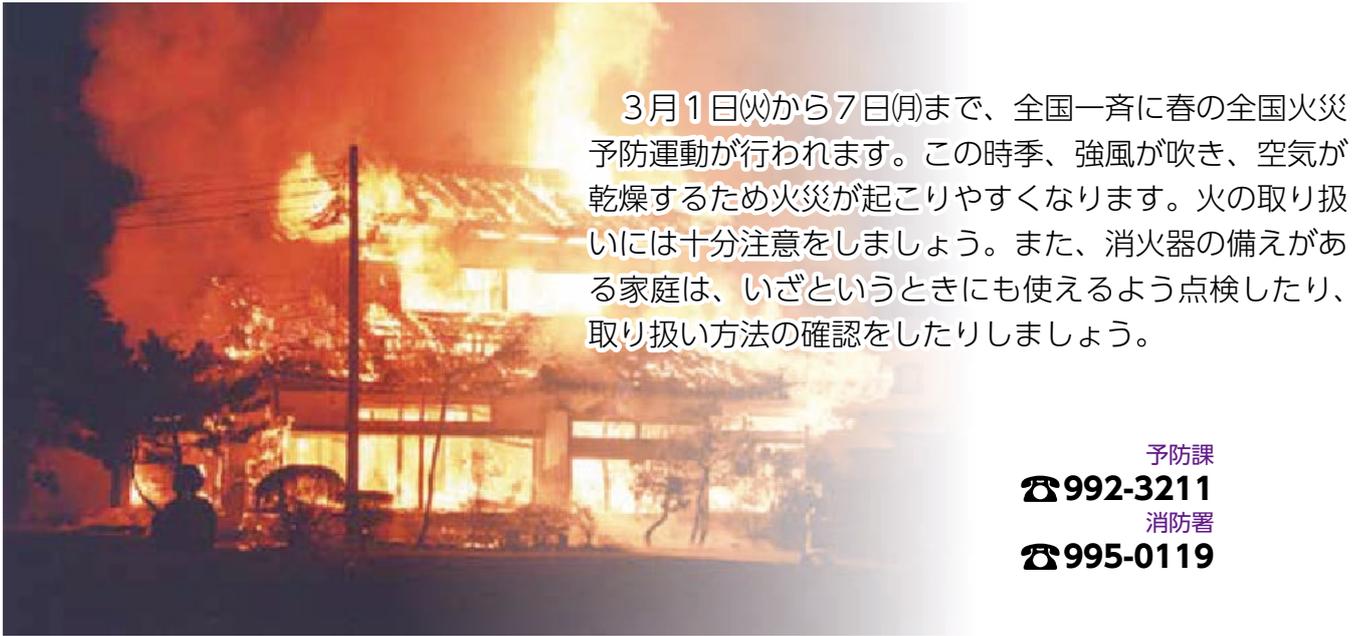


春の全国火災予防運動

3/1 (火)～3/7 (月)の7日間



3月1日(火)から7日(月)まで、全国一斉に春の全国火災予防運動が行われます。この時季、強風が吹き、空気が乾燥するため火災が起こりやすくなります。火の取り扱いには十分注意をしましょう。また、消火器の備えがある家庭は、いざというときにも使えるよう点検したり、取り扱い方法の確認をしましょう。

予防課
☎992-3211
消防署
☎995-0119

いのちを守る 住宅防火7つのポイント

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対にしない。
- ストーブは、燃えやすい物から離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- 高齢の方や身体の不自由な方を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

住宅用火災警報器を設置しただけで 安心していませんか？

住宅用火災警報器の電池の寿命は約10年です。住宅用火災警報器は、古くなると誤作動を起こす場合があります。日ごろから点検や動作確認、必要であれば電池の交換を行いましょ。

また、定期的な掃除を行いましょ。掃除の仕方は機種によって異なるので、取扱説明書をご確認ください。古くなり廃棄する場合は、本体と電池を分けて正しく処分しましょ。

警報器が鳴り、火災を見つけたら

- ▶周りに大声で知らせましょ。
- ▶避難しましょ。
- ▶119番通報しましょ。
- ▶可能なら初期消火を！

※調理時に発生する大量の煙や湯気などでも感知器が作動することがあります。

定期的に作動確認しましょ。

- ▶ボタンを押す、またはヒモを引くなどして作動確認しましょ。
- ▶音が鳴らない場合は、電池がきちんとセットされているか確認してください。
- ▶それでも鳴らない場合は、電池切れか機器本体の故障ですので取扱説明書をご確認ください。
- ▶「ピッピッピッ」と一定の間隔で鳴る場合は、電池切れや機器の異常です。

